

## 読者の皆様との交流頁

この頁を読者の皆様と ATAC との相互交流に使っています。

企業

PR  
コラム

### レーザ焼入れで 熱処理技術に飛躍を！

富士高周波工業（株）  
代表取締役 後藤貞一

弊社は金属部品の高周波焼入れ加工に特化して約50年という歴史を刻んできました。

高周波焼入れの技術を応用して、何か新しい技術はないものかと、模索しているときに、「レーザ焼入れ」という技術に出会いました。熱処理の永遠の課題である「熱処理歪み」に対して軽減効果が大きく、また高周波焼入れでは不可能とされてきた超精密部品の部分焼入れ、複雑形状部品の部分焼入れなど、金属の部分熱処理の幅を大きく広げる技術だと確信しました。

レーザによる焼入れの技術の開発により、歪み低減による歩留まりの向上、材料費の低減など、部品が完成するまでのトータルコストの低減が図れます。また、半導体レーザは焼入れだけでなく、クラッティング（肉盛り）、樹脂溶



着、溶接、合金化などの応用分野があります。

今後は、（財）大阪科学技術センター ATAC 殿と協力し、技術の発展に努めていきたいと考えております。

ご関心のある方はどうぞ見学にお越し下さい。



▲半導体レーザ焼入れ装置

#### 富士高周波工業株式会社

住所：〒590-0001 堺市堺区遠里小野町 2-3-15  
TEL：072-229-0230 FAX：072-233-7583  
URL：<http://www.fuji-koushuha.co.jp/>

ATAC  
ひと言

### 大阪復権

「菜の花や 月は東に 日は西に」この句は、蕪村が淀川流域の菜の花畑を詠んだものですが、江戸時代の大阪は菜種と綿花の一大産地でした。綿花は綿糸や綿布に加工され莫大な富を生みました。一方、古代より河内は日本の「ものづくり」の中心地であり、奈良の大仏や信長の鉄砲を作った伝統技術で繊維機械も作られていました。

明治初期、日本銀行が設立された年に、ここ大阪に、蓄積した富と技術を基に、日本最初の民間資本による紡績会社が誕生しました。

そのころ、大阪造兵工廠が設けられて、その技術と紡績業から日本の産業革命が始まったと言われています。その後、大阪では多様な産業が発展して、日本の産業の中心地となりました。

大阪経済の地盤沈下が問題になって久しいですが、このところ大阪湾ベイエリアに薄型テレビ関連の大型投資が決まり、また、城下町企業を脱して独自の技術と市場開拓でキラリと光る中小・中堅企業が輩出してきています。かつて大阪の産業界のリーダーの一つであった繊維業界も、輸入品に押されて長い間停滞していましたが、姿と形を変えて、軽さ・強さを追求した高機能のスーパー繊維や逆浸透圧膜を使った海水淡水化技術（写真）で再び脚光を浴びています。

今年の4人のノーベル賞受賞者の一人、下村博士の談話に「どんなささいなことでもやり続けていれば結果が出る」「誰も知らない不可解で難しいことに挑戦することが大事」とありました。

私たち ATAC のメンバーは、下村博士の言葉通りの志で懸命に頑張っている企業のお役に立てることを願っています。

（長田記）



▲「福岡市の日本最大の海水淡水化施設」（東洋紡提供）

**ATAC事務局** ATAC ニュースに関するご意見、今後のご要望をどしどし ATAC 事務局までご連絡ください。

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 豊 大阪科学技術センター 技術・情報振興部

詳しい事業内容、最新情報はコチラからご覧下さい▶▶▶ URL <http://www.atac.ne.jp>